

出雲キャンパスの
学生・教職員向け

学部生(医学・看護学)
院生
研修医
看護師
新任の教職員

どう手順を踏めば図書館で雑誌を探し出すことができるのか。医学図書館の雑誌はどういうふうに並んでいるのか。島根大学での手順をまとめました。

Web上でも

閲覧できなかったし、
医学図書館にも
雑誌が無かった…
だけ



やっぱり読みたい。
有料だけど、他大学
等から取り寄せよう



データベースを検索して



から「文献複写等申込み」

直接



からも申し込み可能
(どちらにせよ統合認証
のログインが必要)

図書館カウンターで受渡し

私費払いの場合	平日17時まで受付 料金はおつりのないように	¥
公費払いの場合:	開館時間中は受付 後日、講座等へ請求	



全体像を紹介します

どこから取り寄せているのか

主に国内の大学図書館からです(例年7割以上)。日本は大学図書館のネットワークが発達しており、比較的安価で、かつ少ない待ち時間で取寄せができます。

しかし国内の大学で見つからない場合は営利団体や海外の大学等に依頼します。このとき、料金が高額になったり、時間がかかったり、申込者が直接支払いをしなくてはいけなかったりする場合があります(この場合は申込者に再度確認します)。いただいたお申込みは1件1件、可能な限り早く取り寄せられるように鋭意調査しますので、取寄せ元の選定は図書館にお任せください。

お取り寄せの大まかな流れ

私費？公費？

私費か公費かは申込時に選びます。後からの変更はできません。

まず公費とは、大学の予算のことです。誰がどの予算を使用できるかは、講座ごとに事前にお知らせいただいています。

私費とは、公費に対する用語で、自分の財布から支払うお金のことです。学生や看護師の方の多くは私費での支払いになるかと思えます。

カウンターでの支払い

メールで通知する金額ぴったりを、平日17時までに持参ください。おつりの用意はありません。

申込者(学生・教職員)

私費支払いの場合

公費支払いの場合

使用する予算が登録
されていることを
MyOPACで確認する

申し込む

待ち時間は1週間程度
それぞれの図書館の営業日、郵送距離等
の影響で前後します

カウンターで、文献の受け取りに来たと伝える

料金を支払う

受領サインをして、論文を受け取る

支払いのために
予算を確保しておく

医学図書館

どこから取り寄せるかを決めて依頼する

間違いが無いかを確認する

到着通知メールを送る

料金をとりまとめて支払う

例: 国内の
他大学図書館

依頼に応じられるかを確認する

論文をコピーして送付する

料金を受け取る

方法は2種類だけど

ShimaneLINKSを通じた申し込みをおすすめします

ShimaneLINKSを通じて申し込みをすると、必要事項記入時(図の5)に、論文と雑誌の情報(論文名や巻号など)を、ShimaneLINKSが自動的にデータベースから流用します。つまり入力の手間が省けて、かつ入力ミスも防ぐことができます。

MyOPACから 直接申し込むことも

ShimaneLINKSを経由せずに、図書館HPからMyOPACにログインして直接申し込むこともできます(右図の3から)。その場合は論文と雑誌の情報も入力する必要があります。

文献複写? 現物貸借?

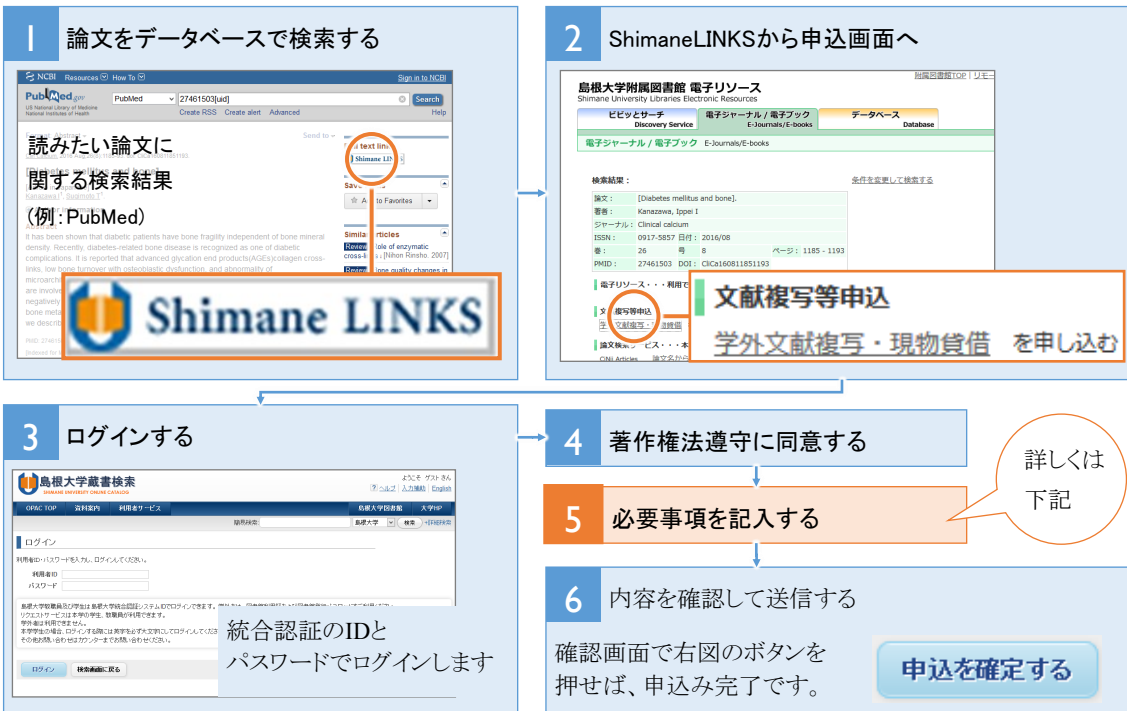
論文のコピーを取り寄せることを文献複写、図書そのものを取り寄せることを現物貸借と言います。この二つはこの同じ窓口から申し込みができます。

料金・時間は どのくらいかかるか

料金は複写料と送料がかかります。一般的な複写料は1枚当たり、モノクロ複写で30~50円、カラー複写で80~100円です。受け取りまでにはおよそ1週間かかりますが、諸条件により前後します。

事前にアドレスを登録

申し込み毎にメールアドレスを入力する手間が省けます。MyOPACにログイン後、「利用者サービス」のタブから登録できます。



必要事項の記入方法

	申込方法	「文献複写」か「現物貸借」かを選びます。論文の取り寄せは「文献複写」です。
	支払料金	「私費」か「公費」かを選びます。大学の予算を設定してある方にしか「公費」は選べません。
	カラー要否	カラー図版がある場合に、カラー複写を希望するかどうかを選びます。図版が重要な論文の場合は、「カラー」をおすすめします。
	送付オプション	「普通」か「至急」かを選びます。「至急」の場合は速達料金がかかります。
	連絡方法	必ずメールアドレスをお知らせください。
	巻号・論文情報	論文についての情報を記入してください。ShimaneLINKS経由だと自動記入されます。
	書名情報	雑誌についての情報を記入してください。ShimaneLINKS経由だと自動記入されます。
	通信欄	何かありましたらこちらでご相談ください。

まとめ

お金がかかるから最終手段かな。でもそんなに難しくなさそう!



- ◆ 論文の取寄せにはお金がかかる。国内の大学図書館以外から取り寄せることになった場合は、料金が高額になる可能性がある。
- ◆ 1週間程度で取り寄せることが出来る。料金を上乘せすれば、速達を指定することも出来る。
- ◆ ShimaneLinks経由の申し込みの方が、手間が省けて便利。